

# 「いの町の歴史と文化」

リーダー 森本涼太

メンバー 川村紫音 森下然

いの町にはいろいろな伝統文化があります。棚田の火祭りをはじめ、様々なお祭りがあり、歴史的な人物としては、わが校の校歌などを作曲した平井康三郎がいます。いの町の問題の一つとして、人口の低下で歴史的文化が忘れ去られているという問題がありました。その問題を解決する策として、子供と高齢者が一緒に昔の遊びをしたり、街歩きをするなどの策を考えました。この策を行うことで、いろんな世代の人が歴史的文化の知識をつけられると考えています。

# いの町出身の偉人紹介

いの町出身の偉人を紹介します。

## 吉井源太



<http://www.morishika.co.jp/history.html>

- 簾桁(すけた)の改良(和紙の増産に貢献)
- 土佐国産和紙、八十四万両(日本円で1092万円)売上

吉井源太さんは、和紙の生産量増加のため、大型簾桁などを考案しました。考案した簾桁で、土佐国産の和紙の売上が八十四万両(日本円で1092万円)達しました。(簾桁は、和紙を作るための道具)

# 平井康三郎



- 本名 平井保喜
- ・東京音楽学校を卒業
  - ・「スキー」などを作曲
  - ・本校の校歌も作曲した

<http://www.hokuseikai.jp/highschool/onshi-iwatubo-1.shtml>

平井康三郎さんの本名は平井やすきさんです。この人は東京音楽学校を卒業後、作曲活動を行い、スキーなどを作曲しました。この学校の校歌も作曲しています。

# いの町の祭り

いの町の祭りを紹介します。

# 棚田の火祭り



<http://www.nihon-kankou.or.jp/kochi/393860/detail/39386ba2212062198>

- いの町の夏の風物詩
- 津賀谷の棚田が幻想的な世界。
- 川内神社、獅子舞奉納

棚田の火祭りは、伊野町の夏の風物詩のひとつです。美しい棚田に約400本もの松明がともり、昼とは全く違った棚田が見えます。棚田の中にある川内神社で伝統芸能である獅子舞も奉納しています

# いの町 大国さま おなばれ

- ・土佐三大祭(春秋の大祭)。
- ・国指定重要文化財のレプリカ披露。



<https://www.attaka.or.jp/kanko/dtl.php?ID=929>

いの町 大国さま おなばれは、春と秋に大祭があり、土佐の三大祭として盛り上げています。鎌倉時代に作られた国指定重要文化財のレプリカも披露されます。

# 本川 神楽

- 本川神楽  
(国の重要無形民俗文化財)
- 神祭の期間  
(11月中旬～12月上旬)



[http://www.town.ino.kochi.jp/kankou\\_bunka\\_kuni\\_04.html](http://www.town.ino.kochi.jp/kankou_bunka_kuni_04.html)

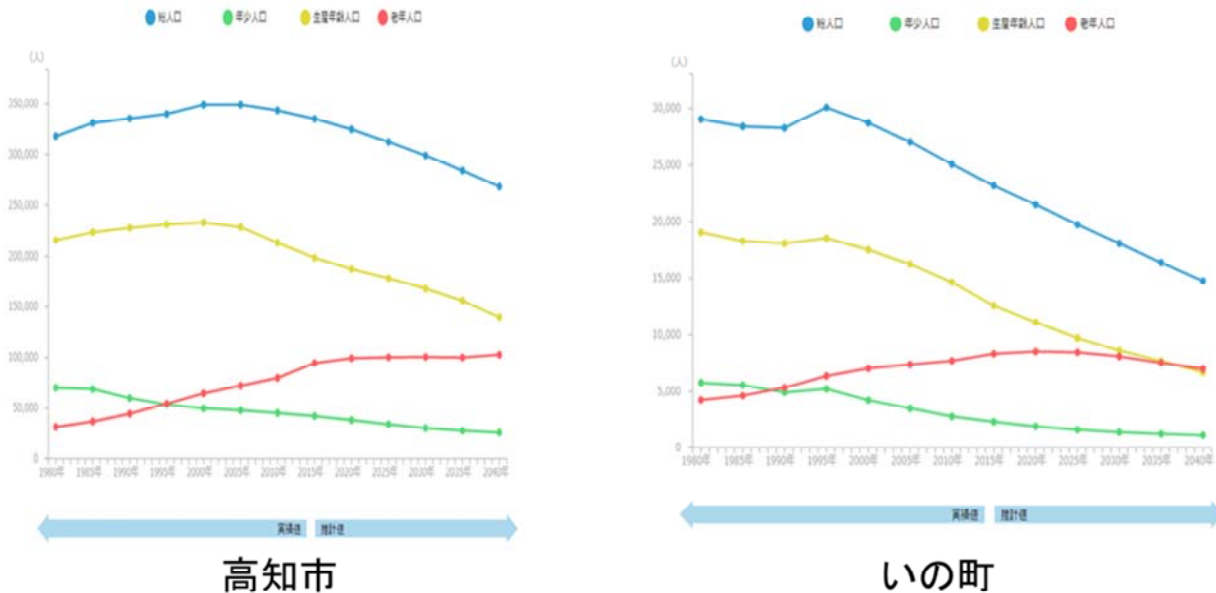
この本川神楽は国の重要無形民俗文化財として指定され、地域のほうでは大切にされています。子供たちも子供神楽として参加しているそうです。神祭の期間(11月中旬～12月上旬)にかけて村内の各社を回わる。



# 人口減少で 伝統文化が途絶える・・・

しかし、私たちが考えた問題は、人口の減少で伝統文化が途絶えてしまう。このようなお祭りがある中で私たちの知らない伝統文化がたくさんありました。それが伝わらない理由を考えた結果、人口の減少により、伝統文化が忘れられているとゆうことにたどり着きました。

## 人口推移(1980年～2040年)



次に、このグラフをご覧ください。左が高知県高知市で右がいの町になっていて、青色が総人口で黄色が生産年齢人口になっています。このグラフから、僕たちが読み取ったのは、総人口と生産年齢人口が高知市もいの町も等しく下がっているということと、人口衰退で生産年齢者が少なくなっていることから、後継者が少なくなっているということが読み取れました。この読み取ったことをふまえて僕たちはこういうアイデアを出しました。(この読み取った...と言い出したらスライド十枚目に変える)

## アイデアとして

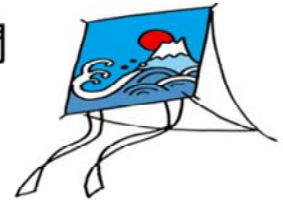
- 1.昔遊び(和紙で作った凧揚げ、こまなど)
- 2.街歩き(歴史の振り返り)
- 3.裏通りに市場を開催(雇用を増やす)

※定期的に伊野町の歴史スタンプラリーを行う。

私たちが考えたアイデアが3つあります

## 1. 高齢者と一緒に昔の遊びをする

- ・期間 1月の上旬ぐらい
- ・時間帯 お昼～夕方まで(5時ぐらいまで)の時間
- ・作業手順(例えば凧揚げ)



<http://www.fussakanko.jp/pa0203.html>

作成



移動



遊ぶ

二つ目に、高齢者と一緒に昔の遊びをするということです。正月遊びを例として説明します。期間は一月の上旬ぐらいで、時間帯はお昼から夕方ぐらいまでと考えています。例としては、まず和紙の凧を作ってもらいます。その凧に絵も描きたいと思っています。移動した後、小学校などのグラウンドで遊ぶということを考えています。まず歴史を振り返りながら街歩きというのを考えました。期間は春～秋暑くもなく寒くもない時期に、時間帯は朝～昼にかけてのイベントにしたいと思っています。

## 活動目的

- ・子供たちに外で遊ぶ機会を増やす。
- ・昔の遊びという伝統を子供たち伝える。
- ・参加する高齢者は昔のことを思い出す。

この活動の目的としては今の子供たちはスマホなど家での遊びが多いので外で遊ぶ機会を増やせる。昔の遊びという伝統を子供たちになるべく知ってもらえる。参加する高齢者の方には若い人たちと接して昔のことを思い出してもらえるのではないかと思います。

## 2.歴史を振り返りながらの街歩き

- ・期間 春～秋（年に一回）
- ・時間帯 朝～昼にかけて
- ・準備 順路の確認。年配参加のため休憩場所の決定。

一つ目は、街歩きです。期間は春～秋暑くもなく寒くもない時期で、時間帯は朝～昼にかけてのイベントにしたいと思っています。  
準備として、順路の確認と小さいお子さんと年配の方にも参加してほしいので、休憩場所も決めておきます。



## 活動目的

- いの町の歴史を振り返る
- 町の良さを再確認
- 歩くことで運動効果も得られる
- 町の人と外部の人との交流の機会がもてる

この活動で、アイデア名にもあるとおり、いの町の歴史を振り返ることができる。町の良さを改めて感じることができる。歩くという動作で運動効果も期待でき、町の人たちと外部の人との交流の機会がもてるという利点があるのではないかと思います。



### 3.市場を開設(雇用の増加)

- ・期間 1ヵ月に1度程度。(夏の花火大会と被るようなら同じ日に開催する)
- ・場所 梶本神社の通り  
(フリーマーケット形式)

最後のアイデアは、裏通りに市場を開いて、雇用を増やすということを考えました。期間としては1か月に1回程度、夏の花火大会がある月には同じ日に開催したいと思っています。場所は梶本神社の通り、フリーマーケット形式でやりたいです。

スタンプを全て押した人には割引券や商品のプレゼント。

※ 道がわからない人のためにスタンプ案内マップを配る。



[http://www.irasutoya.com/2015/08/blog-post\\_7.html](http://www.irasutoya.com/2015/08/blog-post_7.html)

<http://www.irasutoya.com>

このアイデアにはもう一つ案として出ていた「伊野町の歴史スタンプラリーを行う」をくっつけて街歩きをしてスタンプを全部押したらプレゼントや割引券などをもらえるということを考えています。道がわからない人でも大丈夫のようにスタンプの紙の裏面にマップを作るなどを考えています。このスタンプの紙は、来場者に手渡しで配布すると考えています。

## 活動目的

- ・集客と労働者の発掘
- ・町の名物品などが知ってもらえる
- ・裏通りの雰囲気を楽しんでもらう
- ・いの町の近くの神社なども知ってもらえる

この活動の目的として、お客さんも呼べるうえに、ここで働いてみたいという人が出るかもしれない。町の名物品などがわかってもらえる。裏通りの雰囲気を楽しんでもらいたい。いの町の神社なども知ってもらえると考えています。

# 私たちが願うこれからのいの町

これらのアイデアを前提として、私たちが願うこれからの伊野町は

# 昔のにぎわいが戻る

## 歴史文化を伝承

このいの町に賑わいを戻したい。そして、いろんな世代の人が歴史や文化の知識を知って、魅力を理解し身近な人から少しずつ広げていけるような町になってほしいと考えています。

ご清聴ありがとうございました